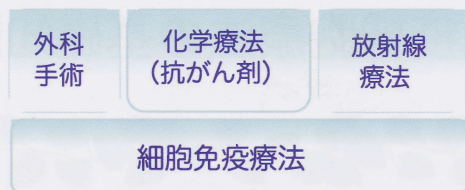


免疫細胞療法って？

動物には病気や怪我に対して自分で治そうとする免疫力（白血球のリンパ球）という自然治癒力が備わっており、体内にできたがん細胞や体の中に侵入した細菌やウイルスを攻撃して死滅させます。細胞免疫療法は、このような生まれつき備わっている免疫の力を利用したり、免疫の力を強めたりすることで、がんの発症や進行を抑える治療方法です。



がんの治療は、1. 外科手術、2. 化学療法、3. 放射線療法の三大療法がこれまで主流を占めてきました。これに続く第4の療法として、がんの再発を予防し、副作用の苦痛を伴わないで普通の生活が送れるような生活の質（QOL, Quality of Life）の改善を高める治療法として、細胞免疫療法は世界中で研究され、臨床的な効果が得られる治療法になりました。



がんの三大療法と第四の治療法、細胞免疫療法

現在、免疫細胞療法は、四番目のガン治療法として三大療法と併用することで、さらなる治療効果があることが期待されている治療法のひとつです。

ガン免疫細胞療法について

特徴

本来は血液に含まれるリンパ球について体外で培養し（およそ1,000倍に増やします）それを再び体内に戻してあげることががん細胞を攻撃させる療法です。

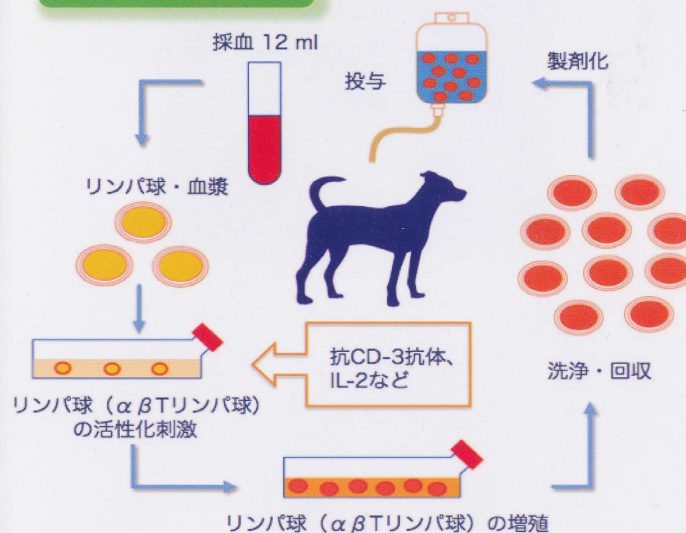
メリット

小さなガンや全身に広がったがんに対する治療効果、切除後のガンの再発予防、副作用がほとんどない、QOL（生活の質）の向上が期待できます。

デメリット

大きな腫瘍を小さくすることはできません
投与回数にもよりますが、費用が高額になります。

治療の流れ



イヌ、ネコの血液（10-12mlを採血）からリンパ球を回収し、薬剤を加えてリンパ球（αβTリンパ球）の活性化・増殖を行ないます。その後およそ1,000倍に増えたリンパ球を洗浄・回収し点滴で体内に戻します。

細胞の安全性について

治療に利用する細胞は、隔離された専用の機器など、無菌的で安全な環境下において培養されます。細胞の安全性については、バクテリアや真菌などのコンタミネーション（汚染）に対して細心の注意を払っております。

インフォームド・コンセント

イヌ、ネコの血液免疫細胞療法を受けられるにあたって、その治療方法、ならびに、副作用、費用などについて担当の獣医師から詳しく説明させていただきます。当療法での治療を受けられるかどうかは、詳細な説明を受けた後、飼い主様が納得された上で、お決めください。

